

令和2年3月25日14時00分
資料配布 近畿地方整備局
兵庫国道事務所
(神戸市 同時発表)

神戸三宮 未来型駅前空間の創出に向けて

～ 国道2号等 神戸三宮駅前空間の事業計画をとりまとめ ～

国土交通省と神戸市は、令和元年8月30日に公表したバスターミナルの整備を含む事業計画の「中間とりまとめ」を踏まえ、産学官連携の下で検討会を開催し、事業計画の深化に向けた検討を進めてきたところです。

このたび、新たな中・長距離バスターミナルの整備を含む事業計画をとりまとめましたので、お知らせいたします。

今後も引き続き、産学官連携の下で神戸三宮 未来型駅前空間の実現に向けて取り組んでいきます。

■事業計画のポイント

○国道2号等 神戸三宮駅前空間の将来の姿

- ・「ひと・モノ・交通が行き交う新たな“港”＝未来型駅前空間」の創出に向け、4つの基本コンセプトを備え持つ空間を5つの整備方針のもと実現。
- ・点在する中・長距離バス停が集約された新たな中・長距離バスターミナルと6つの鉄道駅とまちを接続し、新たな交通結節空間を創出。
- ・道路を人と公共交通優先の空間に転換する「三宮クロススクエア」により、“ひと”中心の空間を地上に整備

○施設配置と事業区分

- ・官民連携し、再開発ビルに新たな中・長距離バスターミナルを直轄道路事業で整備するとともに国道2号の道路空間再編を実施。
- ・再開発ビル低層部にバス乗降場及び神戸らしさが演出された充実したバス待合空間を配置。
- ・道路上空を活用したデッキ等で新たな中・長距離バスターミナルと鉄道駅を接続。
- ・新たな中・長距離バスターミナルに鉄道の代替輸送機能及び多言語に対応した情報発信機器等を整備し、安全・安心な空間を創出。

○事業スケジュール

- ・第1段階として、2026年度頃までに新たな中・長距離バスターミナルのⅠ期が完成し、点在する乗車バス停の一部を集約。
- ・第2段階として、2030年度頃までにⅡ期が完成し、先行して供用開始したⅠ期と既存三宮バスターミナル（ミント神戸）を再編し、三宮駅周辺の中・長距離バス停を集約。

なお、兵庫国道事務所HPの下記URLに事業計画の本編・資料編を掲載しておりますのであわせてご覧ください。
<https://www.kkr.mlit.go.jp/hyogo/kobesannomiya_ekimaekukan/index.html>

<取扱い>

<配布場所>

兵庫県政記者クラブ、神戸市政記者クラブ

<問合せ先> 近畿地方整備局 兵庫国道事務所

副所長 中島 廣長(なかじま ひろなが)

TEL 078-334-1600(代表)

神戸市 都市局 都心再整備本部 都心再整備部 都心三宮再整備課

事業推進担当課長 鷲尾 真弓(わしお まゆみ)

TEL 078-984-0305(直通)

ひと・モノ・交通が行き交う新たな“港”＝未来型駅前空間の創出

4つの 基本コンセプト

人の交流の拠点となる
象徴的な空間に

交通とモノが行き交う
新しい交通結節点に

進取の気風
あふれる環境に

神戸が培ってきた経験や
知恵を活かした空間に

5つの 整備方針

①魅力的な駅前空間の整備
及びまちの回遊性向上

②中・長距離バスターミナル整備
によるモーダルコネク트의強化

③まちの
防災拠点

④未来志向の
移動支援導入

⑤ 国道2号周辺の
交通円滑化

～6つの駅と点在する中・長距離バス停をひとつに～

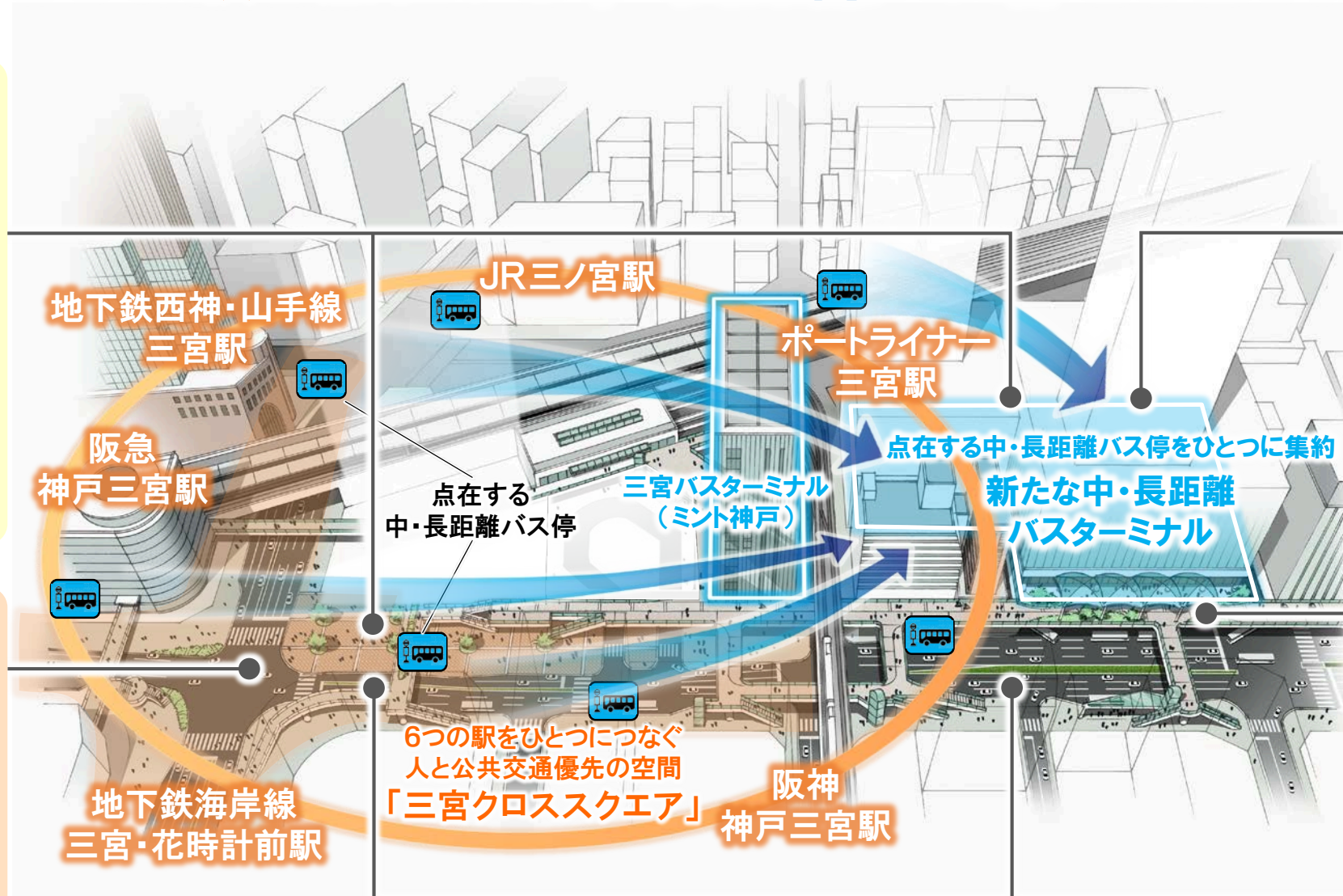
防災都市・神戸の 駅前防災拠点

三宮クロススクエアで
災害情報や公共交通
機関の運行情報等を提供

再開発ビルを一時滞在
施設等として活用すると
ともに、新バスターミナル
に鉄道の代替輸送機能
等を整備

魅力的な駅前空間 を創出する 三宮クロススクエア

道路を人と公共交通優先
の空間に転換する「三宮
クロススクエア」により、
“ひと”中心の空間を地上
に整備



※イメージであり、整備内容を決定するものではありません。

集約型公共交通 ターミナル

中・長距離バスや新たな
モビリティなど、多様な
モードを利用しやすい新た
な交通結節点を整備

人の賑わいと回遊性 を創出するデッキ

三宮クロススクエアと再開
発ビルが一体となった賑わ
い空間の創出や神戸三宮
駅前空間の回遊性を向上
するためのデッキを整備

回遊性を向上させる モビリティネットワーク

道路や神戸三宮駅前空間
の回遊性を向上させる
新たなモビリティネットワ
ークを構築

